

和歌山大学
新しい
による
紹介
本
生活の
ための
キケン
め
海ノ翼
星半神話大系
りんごかも
しれない

学術情報センター
|
図書館年報

本当の
大学生始めま

2016/2017

目次

はじめに	1
TOPICS	2
1) 紀州藩文庫のデジタル化	2
2) 和歌山大学新聞のデジタル化	2
3) 中国の大学図書館との交流	3
4) 国際交流基金関西国際センターとの交流	3
5) 交流会の開催	3
6) 新入生ツアー、ガイダンス	4
7) 講習会	5
8) 研修会	5
9) 催し	6
10) 学術情報リポジトリ	6
学生協働	7
1) 学生サポーター	7
2) ラーニングアドバイザー (LA)	9
資料管理	10
地域連携	11
紀州藩文庫のご紹介	12
視察者・新聞掲載	12
統計	13

はじめに

図書館長 渡部幹雄

和歌山大学は、学生の学修を支援するため、平成22年（2010）から改革を開始した図書館の利用をさらに拡大することを第3期中期計画に掲げています。また、平成29年（2017）4月には、附属機関の再編に伴い、名称をクロスカル教育機構学術情報センター図書館に変更しました。「クロスカル」とは、『教養・文化・国際・地域資源・人材などの「ローカル&カルチャー」が「交流（クロス）」することで、新しい価値が創造される場所へ』という思いを込めた造語です。

平成27年度（2015）までに、新棟の増築、図書館資料の再配置、地域に特化したコーナーの新設等の施設整備を完了し、新たに、学生用図書を充実するための取組みを開始しました。平成28年度（2016）には、「図書館資料収集方針」「図書館学生用図書選定基準」「学生用図書整備計画（5ヶ年）」を策定し、平成29年（2017）から順次整備を進めています。また、学部生の学習をサポートするラーニング・アドバイザーの配置も2年目となり、ラーニング・コモンズにおいて、8名の大学院生による相談体制を取ることができました。平成27年（2015）4月から活動を開始した学生サポーターは、平成28年（2016）には、徳島大学附属図書館を訪問するなど、他大学の図書館との交流機会が増え、本の展示やオープンキャンパスでの案内など、活動も活発になっています。

昨年度に引き続き、地域や海外との交流も継続しています。和歌山県内自治体との連携については、九度山町と「連携協力に関する覚書」を調印し、「森の童話館（仮）」作りを支援するとともに、那智勝浦町において、図書館運営へのアドバイスや研修支援等をおこないました。さらに県内高校での和装本資料整理についても協力しています。海外では、中国の西安交通大学が主催するシンポジウムに参加し、「日本の最近の図書館動向と和歌山大学図書館改革」と題して報告をおこないました。また、ストックホルムやヘルシンキの大学図書館や公共図書館を訪問し、図書館運営についての意見を聴取するとともに、その際にご縁のあった図書館員を迎え、「スウェーデンの図書館員、スウェーデンの図書館を語る」交流会を図書館で開催することができました。

今後は、これらの事業をよりいっそう深化させていきます。



TOPICS

1) 紀州藩文庫のデジタル化

平成 27 年度より、公益財団法人図書館振興財団の助成を受け、和歌山県内の歴史資料等のデジタル化および地域連携推進事業を開始しています。平成 28 年度は、紀州藩文庫（うち郷土誌料）83 点のデジタル化と翻刻をおこない、下記を公開しました。

- 090//12 〔祕鑑〕
- 090//13 百姓一揆談 上中下
- 090//19 〔心覚帳〕
- 090//28 〔道中日記〕
- 090//76 〔高野詣日記〕



紀聞談之内

紀陽岡山魂怪

昔をとへは遠しといへ共眼前其思儀を以てみれハ
遠きに非爰に畠山尾張守政長ハ足利將軍
義政公乃御代ニ被任管領河内紀州越中を
領し本国河内の屋形に居住して紀州ハ出張
乃屋形と号して妻子乃通ひ遊へる処也政長ハ
將軍義政公より義澄公ニ至り六代乃管領なれハ

090//45 紀聞談之内紀陽岡山魂怪

2) 「和歌山大学新聞」のデジタル化

「和歌山大学新聞」は、1951 年に経済学芸両学部の統一新聞部と学校側との協力により発刊されました。第 1 号（1951 年 2 月 15 日）には、発刊の意義として、「この新聞が生れるに至った主な動機は、大学の発展的運営のためには大学内の各構成員がその学内の事情について先ず知らなければならずこのための報道機関の必要と、特に学生の自治活動を活発にして健全なものにしたいという欲求である」と述べられています。図書館では「和歌山大学新聞」原紙を所蔵していますが（一部欠号あり）、経年劣化を懸念していたところ、新聞部OBのご寄附により、デジタル化をおこなうことができました。デジタル画像は、館内のパソコンでご覧いただくことができます。なお、一部をパネル化し、展示しました。



3) 中国の大学図書館との交流

呉海元理事、渡部幹雄図書館長が西安交通大学でおこなわれたシンポジウム「大学図書館発展方向とサービスイノベーションフォーラム（大学图书馆发展趋势与服务创新论坛）」に招待され、和歌山大学の図書館改革について報告しました。

訪問先：

山東財経大学

西安交通大学

日程：

3月29日（火）～4月3日（日）



4) 国際交流基金関西国際センターとの交流

7月22日（金）に、「専門日本語研修（文化・学術専門家）」参加者が図書館を訪問され、渡部館長が図書館の説明をおこないました。また、12月9日（金）の訪問時には、10カ国17名の研究者・司書が、学生サポーターとの交流や図書館職員との意見交換をおこないました。さらに、3月22日（水）には、学生サポーターが関西国際センター図書館を訪問するなど、貴重な交流が続いています。



5) 交流会「スウェーデンの図書館員、スウェーデンの図書館を語る」を開催

12月27日（火）に、スウェーデンの農業大学図書館に勤務されている中野愛子（Aiko Nakano Hylander）さんに、図書館事情をお話いただきました。渡部館長が北欧の図書館を視察した際にご縁があり、和歌山訪問が実現したものです。当日は、幅広い内容について、活発な質疑がありました。

平成28年度 和歌山大学附属図書館交流会

スウェーデンの図書館員、スウェーデンの図書館を語る

スウェーデンの図書館に勤務されている中野愛子（Aiko Nakano Hylander）さんには、図書館事情をお話いただきます。中野さんは、ウツハラ大学で図書館学修士号を取得後、SPスウェーデン国技術研究所で7年間木材部の図書室を担当され、現在はスウェーデン農業大学図書館で勤務されています。今秋、渡部館長が北欧の図書館を視察した際にご縁があり、今回の和歌山訪問が実現しました。

日時：2016年 12月27日（火） 15:30～16:45（受付開始 15:15）
 場所：図書館3階マルチルーム1
 対象：本テーマに関心のある方（学外の方もご参加いただけます）
 参加費：無料
 スケジュール：15:30～15:40 「スウェーデンの図書館に学ぶこと」 渡部幹雄（附属図書館長）
 15:40～16:20 「スウェーデンの図書館事情」 中野愛子氏
 16:20～16:45 意見交換

■申込方法 件名を「図書館交流会申込」として、以下の必要事項をご記入のうえ、電子メールでお申し込みください。

■必要事項 お名前（ふりがな）、ご所属、ご連絡先（メールアドレス）、電話番号

■申込先 和歌山大学附属図書館 学術情報課総務係
 メールアドレス gakuju@center.wakayama-u.ac.jp

■申込期限 2016年12月26日（月）

主催：和歌山大学附属図書館

アクセス：
 和歌山大学（和歌山市深谷530 基地）
 ・南海和歌山大学前駅から
 徒歩で約20分、和歌山バス（和歌山大学前駅乗降バス停
 和歌山大学行）で約6分
 （※大学バスから図書館まで徒歩5分）



6) 新入生図書館ツアー、ガイダンス

■ 新入生図書館ツアー（授業向け）

新入生向けに、図書館職員が館内を案内しながら、館内資料の配置、資料の探し方の概要、設備の利用などを説明しています。観光学部については全ての新入生に対して実施し、その他の学部については、教員からの申込みにより実施しました。

後期の1回は、教育学部教員からの要望で、書庫を含む図書館ツアーの後、ラーニング・コモンズで、OPAC 検索講習も実施しました。

【前期】

- ・実施日：4月8日（金）～5月12日（木）
- ・時 間：30分程度
- ・実施数：23グループ（351名）

【後期】

- ・実施日：11月14日（月）2限
- ・時 間：60分程度
- ・実施数：1グループ（11名）



■ ガイダンス

上記ツアー以外に、ガイダンスを実施しました。

担当：(1) 橋本特任准教授 (2)(3)(4) 情報サービス係 八幡

場所：システム情報学センター第4演習室

(1) 4月19日（火）4限 「教育学部基礎セミナー」

対象：教育学部の1年生、170名

内容：信頼できる情報を収集する意義の解説

情報源（資料）の種類と使い分け

紙媒体の百科事典を引く演習

情報検索の演習問題と解説

情報検索に有用なサイト、データベースのリンク集の作成、配布

(2) 5月17日（火）3限 「専門演習Ⅰ」

対象：経済学部の3年生、10名

内容：(1)と同様

(3) 5月24日（火）1限 「専門研究Ⅰ」

対象：経済・観光の大学院生・研究生、6名

内容：(1)の内容に加え、論文管理のフリーソフト「Mendeley」紹介

(4) 5月27日（金）5限 「基礎ゼミ」

対象：経済学部の1年生、15名

内容：(1)と同じ内容を若干アレンジし、統計情報 e-stat、電子ブックを紹介。

TOPICS

7) 講習会

■「データベースを使ったレポート作成 & 就活情報収集」

① レポート・卒論のためのデータベース活用法—ジャパンナレッジ lib を中心に—

日時：10月26日（水）4限（14：50～16：20）

内容：ジャパンナレッジの概要・基本検索

レポート作成のための情報検索手順

聞蔵（朝日新聞）、CiNii の活用法 等

参加：29名



② 日経テレコン講習会

日時：11月14日（月）4限（14：50～16：20）

内容：日経各紙の記事検索方法・読み解き方、未知の企業の検索

企業業績・人事情報などを使った企業分析

参加：22名

■「イチから分かる、レポートの書き方」※1・2年生対象

講師：藤本則子（本学特任助教・経済研究所）

日時：12月12日（月）5限（16：30～18：00）

内容：レポートと感想文の違い

テーマの決定、情報収集

基本的な書式・体裁・文体

参加：17名

8) 研修会

■「図書館における資料保存」講義と実習 <国立国会図書館講師派遣型研修>

資料の扱い方の基本的な知識を身につけるとともに、軽微な破損に対する補修手当ての実際について学ぶため、国立国会図書館講師派遣型研修「図書館における資料保存」を開催しました。

日時：8月31日（水）13：00～16：00

参加：16名



9) 催し

第10回ライブラリーコンサート

日時：7月13日（水）12：30～13：00

曲目・演奏者：

ファンタジア第5番（ムジカ・ブリタニカ第5番）G. ファーナビー
演奏 横河千裕（Cemb）

6つの大行進曲とトリオ（口短調 第3楽章）F.P. シューベルト
演奏 藪内久瑠実、小川葵（Pf）

陽はすでにガンジス川から（イタリア古典歌曲）A. スカルラッティ
董（イタリア古典歌曲） //

鷗 作詞 三好達治 作曲 木下牧子

今日もひとつ 作詞 星野富弘 作曲 なかにしあかね

演奏 岡本舞衣乃（Sop）、小川葵（Pf）



蔵書リユース市

日時：10月28日（金）10：00～15：00

内容：約3,000冊（辞書・事典等）



第11回ライブラリーコンサート

日時：2月15日（水）12：30～13：00

演奏者：バイオリン 内尾 文香（東京芸術大学2回生）

ピアノ伴奏 内尾 恵美（大阪教育大学非常勤講師）

曲目：ヴァイオリン・ソナタ第5番「春」第1楽章

作曲：ベートーベン

シューベルトの主題によるワルツカプリス

作曲：リスト 編曲：オイストラフ

金鶏幻想曲

作曲：リムスキー＝コルサコフ 編曲：ジンバリスト

真田丸メインテーマ 作曲：服部隆之



10) 学術情報リポジトリ

10月から、和歌山大学学術リポジトリに公開しているコンテンツに対して、DOI(Digital Object Identifier)の付与を開始しました。

- ・ DOI 登録件数（H28）：43 件
- ・ リポジトリ登録件数（H28）：2,717 件

学生協働

1) 学生サポーター

学生サポーターは、ボランティアで図書館の仕事をする学生の集まりです。
平成28年度(2016)は、16名のサポーターが活動をおこないました。

■ 活動内容

- ・ 図書館の利用案内、環境整備
- ・ 返本・書架整理作業(月1回程度)
- ・ ミーティング(月1回程度)



■ 学生サポーター募集

4月11日(月)～4月27日(水) 学生サポーター募集に伴い、現サポーターによる活動紹介ブースを設けました。

■ オープンキャンパス 図書館ツアー

7月17日(日) オープンキャンパス開催に合わせ図書館ツアーをおこないました。参加したサポーターからは「最初は緊張しましたが、みなさんちゃんと話を聞いてくれてとても嬉しかったし、改めて図書館について知ることができました。」という声が寄せられました。



■ 選書ツアー

10月23日(日)、MARUZEN & ジュンク堂梅田店にて選書ツアーをおこないました。

12名が参加し、学生の視点で利用者にすすめたい本、また授業や研究に必要な本など合計114冊を選びました。

サポーターからは「大学生に役立つ本なのか、分野がたよっていないかに気をつけて選びました。」「選書した本がすでに大学にあることもあり大学図書館の幅広さを実感しました。」などの感想がありました。



学生協働

徳島大学附属図書館との学生交流会、報告会の実施

9月29日（木）、徳島大学附属図書館にて学生交流会を実施しました。

徳島大学からは学生8名・教職員3名、本学からは学生7名・教職員3名が参加しました。

お互いの活動内容のプレゼンテーションやグループに分かれて意見交換をおこないました。



11月8日（火）には、交流会の報告会を実施しました。

図書・DVDの展示

・図書展示「新しい本による本生活のための本紹介～本当の大学生始めました～」4/5(火)～6/9(木)
(新生活を応援する本を紹介)

・DVD展示「気軽に外国気分を味わいたい？洋画特集！」6/10(金)～11/28(月)
(おすすめのDVDを展示)

・図書展示「Re:11/29(いいブック)の日から始まる読書生活」11/29(火)～4/4(火)
(選書ツアーで購入した図書にPOPをつけて展示)



学生協働

2) ラーニングアドバイザー (LA)

ラーニング・コモンズにおける大学院生による学修支援活動は2年目となり、レポートの書き方や資料の探し方、学習上の質問、進路相談等に対応しました。

実施期間

平成 28 年 4 月 14 日 (木) ～平成 29 年 2 月 13 日 (月) 授業期・試験期の平日午後

スタッフ 7名

- 教育学研究科 M2：2名
- 観光学研究科 M2：1名 M1：2名
- システム工学研究科 M2：1名 M1：1名

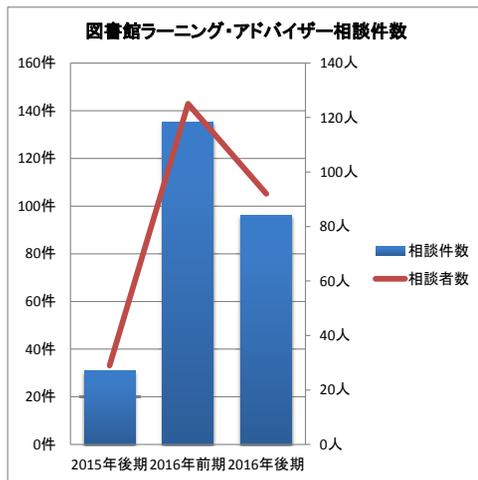
研修

- 4月28日(木) 事前研修：レポート作成に必要な文献の収集法についての基本的なガイダンス
- 10月26日(水) レポート・卒論のためのデータベース活用法 - ジャパンナレッジ lib を中心に -
- 11月14日(月) 日経テレコン講習会
- 12月12日(月) イチからわかるレポートの書き方

相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
レポートの書き方	0	5	1	0	0	2	0	5	6	1	20
資料の探し方	0	8	6	1	0	2	0	1	0	2	20
館内資料の場所案内	0	4	2	3	0	0	1	1	0	0	11
PC やプリンタの操作方法	4	6	12	6	2	8	0	6	4	0	48
学習上の問題	2	7	14	10	3	2	5	3	4	1	51
その他	4	16	7	9	3	13	6	10	10	3	81
合計	10	46	42	29	8	27	12	26	24	7	231件

相談人数	9	37	41	31	7	28	12	24	20	8	217人
------	---	----	----	----	---	----	----	----	----	---	------



相談件数の推移



相談風景

資料管理

劣化マイクロフィルムの整理

マイクロフィルムについては、劣化が懸念されていたことから、温度管理ができるように、平成24年度（2012）に改装された倉庫をマイクロ資料室として、多くのフィルムを保管してきました。しかし、予想以上に劣化（ビネガーシンドローム）が進行したことにより、平成28年（2016）9月にマイクロ資料室の空調が故障し、早急な対策が必要になりました。まず、全てのマイクロフィルムを室内から運び出し、酢酸臭の程度により一次仕分けしたうえで、専門家の助言を受け、フィルムベース調査、劣化度の測定、廃棄までを約1か月間で実施しました。

マイクロフィルムのベース調査

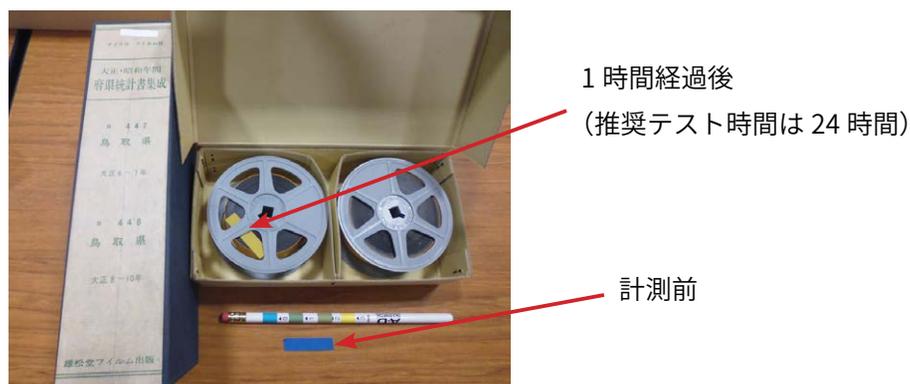
マイクロ資料室に保管されていたフィルムについて、TAC・PET 判定器によりフィルムベースを選別しました。測定結果は下記の通りでした。

TAC ベース：37 タイトル（2,056 リール）

PET ベース：48 タイトル（1,700 リール）

TAC ベースの劣化度調査

TAC（トリアセート）フィルムについては、A-D ストリップスによりフィルムの酸性劣化を測定しました。ほぼ全てのフィルムが、もっとも劣化が進行した「3：危機的・取り扱いが有害の可能性」でした。



フィルムの劣化度が深刻であること、保存することにより施設・設備のさらなる故障が懸念されることから、TAC ベースについては、別室に保管していた1タイトルを除き、全て廃棄することとしました。なお、全て購入した複製フィルムであり、オリジナル資料はありませんでした。

虫害菌対策

平成27年（2015）にシバンムシの大量発生があったため、管理体制を全面的に見直しました。貴重書室については、毎週の点検・清掃を継続しており、新たな虫害の発生はありませんでした。一方、書庫については、平成28年（2016）5月～6月にも、前年度に比べると小規模ではありますが、シバンムシが発生しました。誘虫ライトトラップの設置（4月～7月）、目視点検・書棚清掃（毎日）、低温殺虫処理（毎週）を継続しています。貴重書室は全資料を燻蒸しましたが、書庫資料の燻蒸は一部のみであるため、3年程度を目標に一掃できるよう対策を進めています。

地域連携

■ 和歌山地域図書館協議会

図書館事業の充実と生涯学習の発展に寄与することを目的として、和歌山地域の大学、短期大学、高等専門学校等の図書館及び和歌山県立図書館をもって、和歌山地域図書館協議会を組織しています。

◇平成28年度（第22回）会議

日時：10月12日（水）14：30～16：00

場所：和歌山県立図書館

議題：会則を一部改正、和歌山地域図書館協議会事業実施要項を制定

◇蔵書情報の検索システム提供

和歌山大学で県内の蔵書情報の検索システムを提供しています。県内の方は、お住まいの地域の図書館を通して、県内大学等の図書を借りることができます。

◇催し

江戸時代末期に全身麻酔による外科手術に成功した医師・華岡青洲の生涯、日本最初の診療所（春林軒）における門人からみた青洲の医療についてのフォーラムを開催しました。また、関連するパネル展示をおこないました。

【華岡青洲とその門人たち】

日時：10月1日（土）14：00～16：00

場所：和歌山大学松下会館（和歌山市西高松1-7-20）

特別講演「医聖華岡青洲とその生涯」

池田章氏（医聖華岡青洲顕彰会顧問）

資料紹介「門人からみた春林軒における青洲の医療」

高橋克伸氏（元和歌山市立博物館副館長）



■ 県内図書館の支援

◇委員等（図書館長）

和歌山県立図書館協議会

和歌山県立近代美術館協議会

和歌山市民図書館協議会

那智勝浦町図書館アドバイザー及び図書館協議会

◇講演等（図書館長）

10月7日（金）シンポジウム「半島地域における社会教育施設（MLAK）によるまちづくり」

11月19日（土）講演「学校図書館の活性化とその方策」

／第8回和歌山市教育・学びあいの日「紀州っ子読書活動推進フォーラム」

1月29日（日）コーディネーター「子どもの読書活動リレーフォーラム in なちかつうら」

◇その他

5月14日（土）図書館総合展フォーラム in 和歌山「和歌山県内の歴史資料等のデジタル化
および地域連携推進事業について」講師／橋本唯子

8月8日（月）「子どもの読書活動リレーフォーラム in なちかつうら」第1回ミニフォーラム
講師／藤井亜希子

紀州藩文庫のご紹介

「紀州藩文庫」は、和歌山にあった藩校などの蔵書の一部が、組織改正により図書館所蔵となった文庫です。

紀州藩文庫の郷土誌料の中から－展示「和歌山と医学の広がり」より－

紀州藩では、五代藩主吉宗が生活に役立つ実学を重視し、薬物学とも称される本草（ほんそう）学が奨励され、小原桃洞（とうどう）や畔田（くろだ）翠山（すいざん）といった本草学者が輩出されました。その後十代藩主治宝（はるとみ）が文化政策を更に推進し、藩校学習館とともに医学館が創設されます。麻酔薬「麻沸散（通仙散）」を開発し、全身麻酔下での乳癌摘出手術に世界ではじめて成功した華岡青洲は、紀州の豊富な研究土壌を基に研究を進めたといえるでしょう。



490-35 畔田翠山「紫藤園攷証（しとうえんこうしょう）」

畔田翠山（1792～1859）は、和歌山藩士で本草学者。長期にわたり採薬に諸国を巡り続けた翠山の豊富な学識は、南方熊楠に匹敵すると評されています。「紫藤園攷証」甲は、翠山在世中に公刊された唯一の書といわれ（乙以降未刊）、翠山が調査・研究した膨大な動植物から、要約した解説を載せたものです。



雲霧草（クモキリソウ）

「紫藤園攷証」には、雲霧草は別名「ヤマムハノカミノケ」で、「紀州奥熊野新鹿山中鬱林ニ生ス」とあります。熊楠は「山婆の髪の毛」と題する論考の中で、この植物を那智周辺でたびたび目撃したと記しています。

視察者・新聞掲載

見学・来訪者

- 2016年5月14日 図書館総合展フォーラム in 和歌山（19名）
- 2016年9月15日 東京大学経済学部資料室教員他（9名）
- 2016年9月27日 宮城大学図書館長（3名）

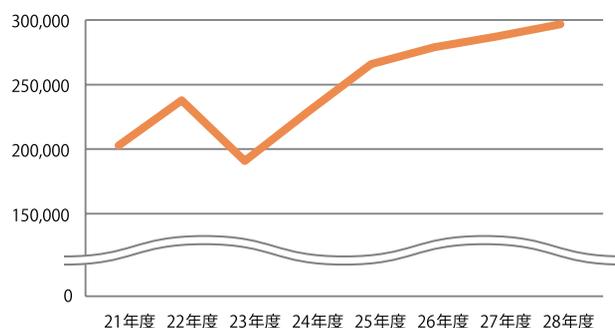
新聞掲載

- 2016年5月3日 毎日新聞「電子化で「まちのこし」 和歌山大・九度山町 連携で図書館整備も」
- 2016年6月15日 熊野新聞「那智勝浦町 12号災害をデジタル化 和歌山大学と連携事業を締結」
- 2016年6月18日 紀南新聞「災害の記憶と記録残す 和歌山と那智勝浦町が事業提携」
- 2016年8月11日 紀南新聞「子どもの読書考える「選書と環境整備が重要」 那智勝浦町教委」
- 2016年8月11日 熊野新聞「本の世界にいざなうには 那智勝浦町」
- 2016年11月29日 毎日新聞「ほっこり「なごみ」の図書館 本棚など独自の設計図販売へ」
- 2017年1月31日 紀南新聞「読書活動の充実を考える 豊かな環境に向けて講演など」

統計 2014-2017（平成 26-28 年度）

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
年間開館日数	合計	286	275	273
利用対象者数	学生	4,662	4,945	4,689
	教職員	865	875	898
	合計	5,527	5,820	5,587
入館者数	学生・教職員	278,093	285,820	295,694
	学外者	1,261	2,136	1,835
	合計	279,354	287,956	297,529
貸出冊数	学生	25,383	31,788	30,384
	教職員	2,916	3,898	4,769
	学外者	1,441	1,517	1,900
	合計	29,740	37,203	37,053
蔵書冊数	和漢書	536,023	536,428	524,399
	洋書	206,226	205,825	202,806
	合計	742,289	742,253	727,205
図書受入冊数	和漢書	5,142	3,786	4,915
	洋書	919	382	630
	合計	6,061	4,168	5,545
雑誌所蔵種数	和雑誌	4,821	4,826	4,907
	洋雑誌	2,273	2,275	2,276
	合計	7,094	7,101	7,183
雑誌受入種数	和雑誌	1,377	1,303	780
	洋雑誌	132	89	67
	合計	1,509	1,392	847
文献複写件数	受付	817	819	803
	国内依頼	1,446	1,226	1,467
	海外依頼	10	11	3
現物貸借件数	貸出	495	545	477
	借受	204	213	243

入館者数の推移





和歌山大学図書館年報 2016 / 2017

2017 (平成 29 年) 5 月発行

発行／和歌山大学クロスカル教育機構学術情報センター図書館

〒 640-8510 和歌山県和歌山市栄谷 930 番地 TEL 073-457-7915